

健康な頃から「あたまの健康状態の見える化」で、リスク管理や予防の指標に

【簡易認知機能スケール あたまの健康チェック®】 神奈川県「ME-BYO BRAND」に認定

この度、株式会社ミレニア（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長野雄太）が全国の医療機関・健診センター、地方自治体、研究機関、企業・団体等に提供する簡易認知機能スケール「あたまの健康チェック®」が、厳正な審査の結果、神奈川県「ME-BYO BRAND」に認定されました。認知機能スケールの認定は、初めてとなります。

2025年に国内認知症人口は700万人に達するとされ、認知症は、介護を要する主な理由第1位といわれています。簡易認知機能スケール「あたまの健康チェック®」は、従来の認知機能検査では評価の難しかった若年層（30歳～）の認知機能低下の訴えない健康な方から受検でき、認知機能の状態を経時的に客観定量観察することを可能とするもので、様々な領域において、これまでは認知機能の評価を受ける機会が無かった人口群が利活用できる「ものさし」として機能することにより、健康寿命の延伸、健康経営の促進、社会保障費の抑制を目指した地域包括ケアシステムにおける一助となることを目指しています。



なお、あたまの健康チェック®は、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター（NCNP）が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の認知症研究開発事業の支援により国立長寿医療研究センター（NCGG）などとともに2016年に運用を開始した、認知症の発症予防を目指したインターネット健常者登録システムIROOP®（Integrated Registry Of Orange Plan；アイループ <https://www.iroop.jp/>）においても唯一の認知機能スケールとして選択され、同大規模データから認知機能の変化に影響する因子の解明、国際発表に際しての指標として寄与致しました。

■ 簡易認知機能スケール あたまの健康チェック® 概要



従来の検査法では評価の難しかった若年層や健常～MCI 群における認知機能の客観的定量観察に適した簡易認知機能スケール。認知機能の状態を表す MPI (Memory Performance Index) は、0-100 の値で経時的変化が観察でき健診や自治体、研究機関による定期的な状態観察や予防介入の効果測定にも適している。独自の人口統計評価アルゴリズムにより、専門職の手を煩わせることなく、検者の職能を問わず誰でも 10 分で高精度な評価が可能。クラウド版検査環境は、検者向けであり、知識や経験のない検者を画面指示で誘導。被検者は検者の問いに回答するだけ。

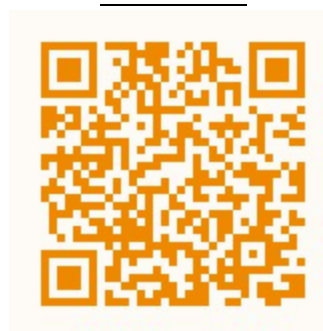
米 FDA 治験や国内 AMED 研究事業で採用されていることをはじめ、全国の医療機関・健診センター、研究機関、地方自治体、企業・団体により広く採用される新しい領域の認知機能スケール。国際的に権威のあるジャーナルでも多数の成果掲載歴があり、国内外の著名な医師、研究者からの評価も高い。

■ あたまの健康チェック® ご自宅で受けられるコールセンターサービスも

ご自身のチェックはもちろん、ご家族への健康管理のプレゼントとしても



ご自宅でも 10 分： あたまの健康チェック®
受検用証書



【個人向けコールセンターサービス サイト】 https://www.millennia-corporation.jp/ninchi/lp_main.html

<本件に関するお問い合わせ>

セントケア・グループ 株式会社ミレニア

東京都中央区日本橋箱崎町 17-1

TEL : 03-5695-3028 / FAX:03-5695-3000

Mail: info@millennia-corporation.jp

URL: <https://www.millennia-corporation.jp/ninchi/mci/index.html>

